

## 新しい生活様式に対応した避難所の資機材を見学

今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、予定していた第九小学校区としての防災訓練は中止となったため、代わりに10月25日に第七小にて開催された長岡京市防災訓練（避難所開設訓練）に会長等役員4名で参加してきました。

受付での検温の後、会場内（体育館）に移動すると、会場内は一面白い布で間仕切りされた空間が広がっていました。間仕切りのフレームは段ボールを素材とした紙管で、連結ができるためいくらでも拡張できるそうです。避難所でのプライバシーの確保や、ソーシャルディスタンスの確保が難しい状況における感染症対策に有効とのことでした。



【会場の全体像】

その他、会場内にはポータブル電源や避難所Wi-Fi、災害対策用のプライベートルームや自動ラップ式トイレなど、新型コロナウイルスの感染防止を考えた新しい生活様式にそった資機材が展示されていました。

避難所生活では、間隔の十分な確保や健康面への配慮など従来以上に様々な制約の中で行わざるをえません。避難した場合は、皆さんがお互いに理解し協力することが大切だとあらためて感じました。

## サタプロ開催♪ ～ハロウィン～

コロナ禍の中、ふるさとコミュニティ協議会主催、九小PTA主管によるサタデープロジェクト「ハロウィン」を10月24日に開催いたしました。多数の申込みをいただき誠にありがとうございました。今年度は60名と限定された参加となり、また滞在時間の短縮など色々なコロナ対策をした上での開催となりましたが、関係者の皆様のご協力をいただき、盛大に終えることができました。

運動場での開催でしたが、天候にも恵まれ、参加された子どもたちは思い思いの仮装衣装を作り、後日写真配布となりましたが、お喜びの声も多数いただきました。

無事に開催できたことを関係者一同嬉しく思っております。これからも子どもたちが安全に楽しく参加できる取り組みを企画してまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。



## 長岡第九小校区 ふるさとコミュニティだより

コミュニティニュース  
令和3年3月1日  
発行:長岡第九小校区  
ふるさとコミュニティ  
協議会事務局

## 考慮を重ねた1年間

今年度は新型コロナウイルスの発生状況、自治体の情報収集や各種団体の行事にも考慮し、地域の方々や協議会会員、役員とお互いに連絡を取り、例年と違う取り組み、活動を実施するのに苦慮しました。

今までの生活環境を新型コロナウイルスにより、新たな生活様式に変化させていかないといけない状況の中で、来年度は常にコロナを意識したうえで、活動、計画、運営に考を反映させていきたいです。

なお、会長としての計4年間の任期については長いようで短かったです。就任当初は、どのように事業活動を運営したらよいか戸惑うことばかりでした。しかし、コーディネーターや各種団体、地域の皆様に協力いただき無事会長を務めさせて頂きました。この4年間には、ふるさとの地域運営など色々なことがありました。思い出は尽きませんが、私にとって本当に良い経験をさせて頂き、ありがとうございました。

会長 長谷川 啓展

【緑色にカラー化された古市橋の歩道】



府に提案した通学路である歩道の一部カラー化、注意喚起の看板設置が実現し、車の安全走行の促し及び児童の歩道通行の意識づけを図っています。

## 設立10周年記念に小学校へコロナ対策支援品贈呈！



【贈呈式の様子】

第九小学校区ふるさとコミュニティ協議会は今年度で設立して10周年を迎えました。その記念として、9月7日にPTAと共同で小学校に「サーキュレーター」を各教室に1台ずつ、合計20台寄贈しました。

「サーキュレーター」は教室の空気を循環させる機能があり、かねてから学校が欲しいとおっしゃっていたものです。さっそく、子どもたちのために各教室で活用していただいています。

## 素敵な寄せ植えが出来あがりしました☆

ふるさとわくわくクラブでは、12月11日に寄せ植え教室を実施しました。コロナ禍で密を避ける為に、20名の定員でしたが大人気で、70名の申込みがありました。抽選で20名を選び、10名ずつの2部制（午前と午後）とし、峰山講師の指導で約1時間程で、きれいな寄せ植えが出来上がり、参加者からは「早めの正月気分を楽しむことができました。」と大変好評でした。



今年度で予定していた設立10周年の記念式典は延期となりました。開催時期については、決まり次第周知させていただきます。

### 連絡先

- ・ふるさとセンター（第九小学校内） 951-7799（Tel. Fax）  
✉ [dai9hurusatokomi@gmail.com](mailto:dai9hurusatokomi@gmail.com)
- ・毎週火・木・金 9:30～11:30はふるさとセンターに在室しています。閉まっている時は、氏名と連絡先を明記して頂き、ご用件をメモに書きポストに入れて下さい。後日、連絡させていただきます。

## スタッフ募集！

活動に興味のある方、ぜひご連絡ください♪



# 繋

神足自治会（八木豊）

当たり前ことができなくなった年でした。だからこそ人との**繋**がりの大切さを改めて考えることが出来た。

来年度は、自治会の枠を**超**え、もっと地域の皆様と繋がり活動を新しいやり方、方法で何ができるかを検討していきたい。

# 悩

東和苑自治会（大谷正彦）

書面審議の総会から備蓄マスクの配布に始まり、行事や会合は感染防止を最優先で見直し、運営してきました。

来年度は、何より新型コロナウイルス感染症の終息を祈りつつ、3密排除で会員同士のコミュニケーションの場を**作**っていききたい。

# 怠

馬場自治会（今堀晃彦）

活動の中止、縮小で、会員との繋がりも希薄で残念、それよりも全員の感染が零で**怠**事であることが第一でした。

コロナはいつ収束するか予測できないが、来年度の収束後は前年度の無を全て**有**にして活動できることを希っている。

# 忍

少年補導委員会（高橋貴）

コロナが収まるまでは**忍**。来年度は、子どもたちが安心して勉学に励み、安全に生活ができ、健康な躰が出来るように見**守**っていけるように頑張っていく。

# 念

ふるさとコミュニティ協議会 企画委員会（長谷川昭）

第九小学校開校以来実施されてきた小畑川クリーン作戦とふるさと祭りを中止せざるを得なかったことは誠に残**念**、無**念**である。

来年度こそは、当協議会の三大事業を皆さん方の**総**意工夫により実施できるよう祈念する。

# 今年度の活動を漢字一字で表現！



コロナ禍で例年に比べて地域の団体の活動が大幅に制限された一年になりました。そのような中でも各団体は試行錯誤しながら、様々な取組みを継続されていました。各団体が、どのような事に心がけ活動してきたかを漢字一字で表していただきましたので、令和3年度どのような活動をしてきたいかと合わせてご覧ください。

# 耐

古市町自治会（野村和宏）

行政指導、TV、新聞の報道等にて情報収集しながら出来るだけ会議や集会をさけながら文章にて配布、交換した。

コロナ感染の状況を見ながら行政の方向性が決まる迄はどうにもならない。（勝手な行動は**慎**しむべし）

# 思

長岡京市民生児童委員協議会（福増久美子）

自粛生活の中で委員同士又住民の方とも会う機会が少ない分、お互い気づかうようになった。

これからも今の状態が続くであろうことを予測して、無理のない範囲で出**会**いの場を作っていきたい。

# 接

乙訓保護司会（五十棲登代子）

人と**接**する機会が少なかったのですが、個人との接触はメールやラインなどで密**接**に行い、リモートなどで新しいやり方を覚えました。

\*3密だけは気をつけています。更生保護女子会も「マスク作り」をしました。

来年度は、新しいよい生活**慣**もできたので続けていききたいです。

# 怠

古市在自治会（荻野孝治郎）

コロナ禍の為、自治会事業や祭り等全て中止で残念**怠**念だった。小さな子どもさんからお年寄りまで、行事に多数喜んで参加して頂いていたのに、主催側としても地域の皆さんに何にも楽しみが与えられなかった。来年度は、当たり前の事が当たり前の様に出**来**る事を願う。

# 継

リメイク教室（加藤久子）

物を無駄にしない。工夫する脳、手先を動かし、歓談する脳を活発化する習慣を**継**いでいく。発足して来年で10年、この活動が会員さんの「生き甲斐」になるように**楽**しい活動を目指します。

# 繋

長岡第九小学校PTA（松島博優）

人に会えない会いにくい状況で助けられた助けてくれたのは人の**繋**がり、余計に人の**繋**がりのありがたさを感じました。来年度は助けてくれた人たちをもっと大切に、助けられたのを今度は自分が人を大切にできるように、子供たちが楽しみにくい状況でどうやって楽しんでもらえるか考えて**実**行していく1年にしたいと思います。

# 空

ふるさとスポーツクラブ（高野重和）

今年度のイベント、教室がすべて中止となり、子ども達、地域の人達に何も貢献できなく、**空**しさを感じています。

今年度の空しさを**糧**にして、来年度はイベント、教室が開催出来れば、老若男女の多くの人に、楽しく参加してもらえる活動をしていきたいです。

# 守

長岡第九小学校（西出さつき）

子どもたちの学校生活を**守**る、コロナから身を**守**るを心掛けた一年でした。来年度は、行事や取組みに制限がある中ですが、子どもたちと楽しいこといっぱい**攻**めの年にしたいです。

# 忍

わくわくクラブ（樋口雄一）

コロナ禍での活動制限は**忍**耐のいるものだが、少しでも活動できる方法に苦慮した。

来年度は、忍耐が**放**され次第、従来通りの活動に一刻も早く戻したい。

# 新

新しい世界や楽しみを味わった

# 笑

コロナでも**笑**顔で頑張れた

# 幸

学校に行ける**幸**せを感じた



「2020年子どもが選んだ漢字は」（ベネッセコーポレーション調査）